

平成27年度 第5回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成27年8月20日（木）

場 所 豊岡市役所出石庁舎2階 大会議室

所在地 豊岡市出石町内町1番地

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後3時25分

○ 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	委員（委員長）	深田 勇
	委員	友田 千織
	委員	宮嶋 珠美
	委員	中川 茂
	委員（教育長）	石高 雅信

欠席委員 なし

○ 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	丸谷 統一郎
	教育総務課長	和藤 達也
	こども教育課長	田淵 重遠
	こども教育課指導主事	升田 敏行
	こども教育課主任	足立 美由紀
	こども育成課長	福富 省吾
	教育総務課長補佐	堂垣 真弓
	教育総務課係長	向原 芳江

事務局以外 地域コミュニティ振興部

コミュニティ政策課参事 真島 利之

生涯学習課長 井上 貢

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

宮嶋 珠美 委員

第2 前回の会議録の承認

平成27年7月28日（火）開催 第4回定例会

第3 議事

- 議案第22号 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について
- 議案第23号 寄附物件の申出について（4件）
- 議案第24号 平成27年度9月補正教育関係予算案に関する意見について 【非公開案件】
- 報告第9号 専決処分したものの報告について（損害賠償の額を定めること）【非公開案件】

#### 第4 教育長の報告

#### 第5 協議事項

- 1 教育委員会管外行政視察を終えて

#### 第6 地域コミュニティ振興部の報告

- 1 生涯学習課
  - (1) 「植村直己に学ぶ」サバイバル体験教室のテレビ放映について

#### 第7 教育委員会事務局の報告

- 1 教育総務課
  - (1) 平成27年度豊岡市教育委員会の点検・評価報告書の公表について
  - (2) 山名氏城跡整備基本計画〔改訂版〕について
- 2 こども教育課
  - (1) 学校園の運動会、体育祭の訪問について
  - (2) 2学期以降の学校園訪問について
  - (3) 全国学力・学習状況調査結果の公表を受けての取組について
  - (4) こども支援センター7月の活動状況報告について

#### 第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

#### ○ 会議の概要

---

開会 午後1時30分

---

(深田委員長)

ただいまから平成27年度第5回定例教育委員会を開会いたします。

本日は、教育委員5名すべて出席しており、会議の定足数を満たしておりますので、会議が成立していることを報告させていただきます。

それでは、次第に従いまして会議を進めてまいります。

#### [日程 第1 会議録署名委員の指名]

(深田委員長)

第1、本日の会議録の署名委員は宮嶋委員にお願いします。

## [日程 第2 前回の会議録の承認]

(深田委員長)

第2、前回の会議録の承認です。平成27年7月28日に開催いたしました第4回定例会の会議録につきましては、事前に委員の皆様へ配付しております。委員の皆様の承認を求めたいと思います。確認をいただいていると思います。誤りだとか修正だとか、ありましたでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

「なし」という声をお聞きしました。それでは、会議録につきましては、承認するということに決定いたしました。

## [日程 第3 議事]

(深田委員長)

第3、議事に移ります。議案第24号、報告第9号につきましては、予算、また議会の承認を得るべき事項となっておりますので、先の改正前の豊岡市教育委員会会議規則第18条第1項の規定に基づきまして、非公開としてよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

「異議なし」の声があります。出席委員の皆様の承認が得られましたので、議案第24号、報告第9号につきましては、非公開とさせていただきます。本日は傍聴の方もいらっしゃいますので、その非公開になる審議につきましては、豊岡市教育委員会傍聴規則第6条第2項の規定に従いまして、非公開とした議案の審議が始まりまして終了するまでの間につきましては、退席をお願いすることとしたいと思います。これより審議案件の審議に入ります。

議案第22号「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。まず、事務局説明をお願いしたいと思います。こども教育課長、お願いいたします。

### ○議案第22号 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について

《こども教育課長の説明概要》

平成28年度使用豊岡市立中学校教科用図書について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により、採択することの承認を求めるものである。

教科用図書の採択について、簡単に説明させていただく。市町立の義務教育諸学校で使用される教科書の採択の権限は、市町組合教育委員会にあるが、義務教育諸学校の教科用図書の無償処置に関する法律の一部改正により、採択にあたっては、県教育委員会が市町村の区域またはこれらの区域を合わせた地域を採択地区として設定し、地区内の市町組合教育委員会が協議して、種

目毎に、同一の教科書を採択することになっている。採択地区はその区域内で同一の教科書を使用することが適当と考えられる地域であり、県教育委員会が、自然的、経済的、文化的条件を考慮して設定することになっている。兵庫県教科用図書採択地区に基づき、但馬地区で共同採択の方式を採っている。但馬地区の調査員会は、各市町の教員の代表で構成されており、この調査員会で調査研究した内容が、先日開催された但馬教科用図書採択地区協議会に報告されている。その報告を受け、協議会で慎重に審議し、選定結果を教育委員会に通知することになっている。

その通知された内容について説明する。今回の採択は中学校の全教科について行われる。配付の資料が、8月10日に但馬教科用図書採択地区協議会が開催され、選定された通知内容の一覧である。ここに記載の教科書は、生徒が学んでいくためのさまざまな工夫がされており、但馬の生徒が使用していくのに適しているという判断から、選定に至っている。

(深田委員長)

はい、どうもありがとうございました。説明は終わりました。それでは、ただ今から質疑に入りますが、新しく発行されました教科書につきましては、皆さんには、6月に図書館で開催されております教科書展示会において、既にご覧になっていらっしゃるだろうと思いますので、そのことを含めながら審議をしていただければ、大変ありがたいと思います。

それでは、ただ今こども教育課長から説明のありました通知につきまして、質疑、質問やご意見がありましたらお願いいたします。

(宮嶋委員)

説明ありがとうございました。これまでの経緯、経過をもう少し詳しく教えていただけないでしょうか。

《こども教育課長の説明概要》

教科書の採択は、県の基本方針で広く教育関係者の意見を求める、採択の適正化を図るために、採択地区協議会を設けることとされている。その協議会に教員等で構成されている調査員会を設置して、教科書の調査研究を十分に行うように方針が決められている。

但馬においても、この基本方針に従い、採択地区協議会、それから調査員会を組織して、6月中旬から採択手続きを進めてきている。採択までの流れは、まず採択地区協議会が招集され、基本的な構成、方針を決定する。その中で、調査員会に教科書の調査研究をするように依頼をする。この協議会からの依頼を受け、調査員会が発足され、各教科について協議をしていくということになる。その取りまとめた結果が協議会に報告される。協議会でその各教科の報告を受けたものについて慎重に審議し、但馬地区で決定していくというような流れである。具体的には、第1回の但馬地区の協議会は、6月23日に開催されている。但馬の調査員会は、7月3日に第1回目を開催し、7月の中旬から7月下旬にかけて、第2回を各種目毎、教科毎に開催している。そこで報告の上ってきたものが、8月10日に、第2回の但馬教科用図書採択地区協議会で審議されたということである。

(深田委員長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(友田委員)

但馬地区調査員会では、教科全般に渡ってどのような点に留意して教科書を選定されたのでしょうか。

《こども教育課長の説明概要》

やはり内容をしっかり吟味するということになる。生徒の発達段階を考慮して、学習への興味関心あるいは意欲というものを喚起して、主体的な学習が展開できるよう工夫されているかどうかというあたりを慎重に審議する。それから資料も大変有効なものであるが、内容的に充実しているのかどうかというあたり、それから字の大きさ、写真とかイラスト等、生徒にとって扱いやすい状態なのかどうか。やはり配置というのも重要で、見易さというものも考慮されたと聞いている。

(深田委員長)

その他、何かご質問だとかご意見だとかありましたでしょうか。

では、質疑また討論に関しては打ち切りたいと思います。はい、教育長。

(石高教育長)

先ほど、こども教育課長からこの採択についての流れの説明があったわけですが、但馬の場合は3市2町の但馬地区で共同採択ということで、ずっとこの流れの中でできていますし、従来から共同採択という手法でやってきています。その中に当然豊岡市から選ばれた委員も入っています。私も、この採択地区協議会に出ましたが、各教科が観点をしっかり決めて、その観点に基づいてそれぞれの種目毎に教科書を選んでいきますので、当然公平に選定されたものと考えています。したがって私たちは、その但馬地区の採択地区協議会で選定された結果を尊重するべきではないかと私自身は思っているということを、最後に付け加えておきたいと思います。

(深田委員長)

はい。ありがとうございます。ご意見ご質問についても、特段出ておりませんので、ご説明いただきましたとおり、平成28年度から中学校で使用します教科用図書採択について承認してよろしいでしょうか。承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

ありがとうございます。全会一致です。

議案第22号につきましては原案のとおり承認するという事に決定いたしました。

では続きまして、議案第23号「寄附物件の申し出について」を議題といたします。

教育総務課長、説明をお願いいたします。

## ○議案第23号 寄附物件の申し出について

《教育総務課長の説明概要》

4件の寄附物件の申し出があり、これを受納しようとするもの。

資料のとおり、個人1件、団体3件から寄附物件の申し出があった。

(深田委員長)

ありがとうございました。説明は終わりました。質疑はありませんでしょうか。

(委員)

なし。

(深田委員長)

はい。打ち切ります。討論ありませんでしょうか。ご意見等ありませんか。

では討論打ち切ります。

お諮りいたします。本案につきましては、原案のとおり受納することを承認するという事に決定してご異議ありませんでしょうか。

(委員)

異議なし。

(深田委員長)

「異議なし」の声を聞きますので、異議なしと認め、議案第23号につきましては原案のとおり受納するという事に決定しました。

以上が公開による議事です。先ほど議事に入る前にお話をさせていただきましたように、このあとにつきましては豊岡市教育委員会傍聴規則第6条第2項の規定によりまして非公開とさせていただきます、審議をいたしますので、傍聴されている方につきましては、この審議が終了するまで退席をお願いいたします。

< 傍聴人退室 >

では引き続き議事に入ります。

#### ○議案第24号 平成27年度9月補正教育関係予算案に関する意見について

【非公開会議】

《 平成27年9月市議会に提案する補正教育関係予算案について、担当課長が説明し、審議の結果、「異議なし」と承認された。 》

#### ○報告第9号 専決処分したものの報告について（損害賠償の額を定めること）

【非公開会議】

《 平成26年8月11日に発生した事故について、示談が成立し、損害賠償額が決定したことに  
ついて、コミュニティ政策課参事が報告した。 》

(深田委員長)

では非公開の議案、議事につきましてはここまでとなります。傍聴の方がいらっしゃいました

ら、お入りいただきたいと思います。

#### [日程 第4 教育長の報告]

(深田委員長)

では、傍聴の方はいらっしゃいませんので、引き続き次第に従って議事を進めさせていただきます。第4、教育長の報告をお願いいたします。

##### 《教育長の報告概要》

7月28日から今回の定例教育委員会会議開催までの期間における教育活動の概要

\* 7月31日に教職員の選択制研修講座が開催された。昨年に比べて参加者が増えているが、特に中学校からの参加者が大きく増えており、確かに意識の変化が見られている。しかし、それが具体的に日々の授業の中でどう生かされるのか、子ども達の指導にどう生かされるのか、そのあたりがこれからの大きな課題であろうと思っている。今後、この選択制研修講座を開きながら、豊岡の教育課題にしっかりと迫っていき、教師の研修体制をしっかりと組んでいきたいと思っている。

\* 8月4日に市役所庁舎前広場で夕涼みコンサートが開催された。これは昨年の豊岡北中学校に引き続き、本年度は豊岡南中学校に取り組んでいただいた。住民の方もたくさん聞いておられて、大変好評だったと思う。子どもたちの頑張りを見てもらう非常に良い機会になったと考えている。

来年は高校や小学校とのジョイントコンサートが実現できたらいいなという話を豊岡南中学校の先生としたが、それぞれの先生方の指導のエリアがあったり、いろんな思いがあったりして、なかなか他の学校と一緒にするのは難しいが、来年はぜひ、ジョイントコンサートができればいいなという思いを持っている。

(深田委員長)

ありがとうございます。教育長の説明、終わりました。何か質問はありませんでしょうか。では、質問がないようですので、教育長報告につきましては、以上になります。

#### [日程 第5 協議事項]

(深田委員長)

第5、協議事項に移らせていただきます。協議事項「教育委員会管外行政視察を終えて」について、各委員の方々には、すでに資料もお渡ししております。ご意見等お伺いしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

(中川委員)

全体を通じては、両市とも丁寧に対応してもらって、今回の視察は良かったなと思いました。特に、こちら側が質問して、都合の悪い事もありますよね。それについても、実はそれが課題なんですとか。非常に良かったなと思いました。今後、視察を受け入れるようなことがある場合には、今回の両市の対応を参考にさせていただきたいと思いました。

宇治市の所感なんです、それは3点ほどあって、小中の合同研究会が結構頻繁に開催されて、その中でもいかに低位の底上げを行うかという議論が現場サイドで真剣に行われていたこと。一部資料をもらったんですが、家庭学習ナビ、これも各ブロックごとで独自のものを作って、家庭学習の定着化を図ろうとする試みもありました。

それから、ここは特に先生の関係なんです、中1になった子は夏休みに振り返り学習、集中学習といったものがあって、そこでは特に中学校の先生がされるわけですが、かつて担任した小学校の6年生の先生もその場に同席をしておったりと、まさに子どもに寄り添う姿勢というのが小学校、中学校ともできていた。ただこれは、小中一貫だからできるのかなという感じがした。

3点目は、小中の生徒の主張交流会とか中学校の文化祭に小学校5年生が全員鑑賞するということなども、他のところでも見られますが、やはりお互いの自尊感情を高める上でも効果があったのかなと思います。

豊岡市の関係については、関連するのでまとめて言いますと、今後の研究課題ということになると思うんですが、施設一体型でいくのか分散型でいくのかという判断はもちろんあると思うけれども、まずそこに行くまでに、保護者や地域の方に第一段階として、なぜ今、小中一貫教育をやらないといけないかということ、単に国の方針だからということではなしに、市の方でも今まで取り組んできた経過も踏まえてその必要性を早めに知ってもらう必要がある。将来的にはアンケートといったことも出てくるだろうと思うのですが、事前の準備が必要かなと思います。それと、一般的に小中一貫と言えはいろんな形態がありますが、私もかつてそうでしたが、施設の一体型を小中一貫と理解する市民も結構多いと思うので、先ほど言った説明の中で「小中一貫はいろんなパターンがあるんですよ」といったことも知ってもらう必要があるのかなと思いました。

宇治市で小中双方の先生の理解が非常に進んでいたわけですが、豊岡もあのレベルまでなろうと思ったら、ちょっとこれは時間がかかるなというのが率直な思いでした。したがって、小中相互の交流、意見交換というものも必要かなと思っています。

それから、これも宇治で今なお課題だと言っておられたのですが、豊岡も将来この方向で効果的に進めていこうと思えば、やはり分散進学について手をつけないわけにはいかないのではないかな。実際には難しいのは良く分かったのですが、そこは課題になるのかなと思いました。まずは今進めようとしている但東地域の取組を成功させることが必要かなと思いました。

寝屋川の方ですけども、英語村の取組、これがすごいなと思いました。小5全員、夏休みに参加させているということでしたが、まずはALTの先生たちに対して物怖じしない度胸をつけさせるのが、コミュニケーション能力の向上にも繋がる良い取組だなと思いました。英検の補助事業もちょっと変わっていて良かったなあと思いますし、なによりも一番本市と比べて決定的に違うというのは、優れたALTが確保されているということがありました。それと、彼らをサポートする支援者、民間の人ですけどね。そういった制度も、豊岡としてもこれから考えていく必要があるのではないかと思います。

豊岡市でどうかということなんです、前回の教育委員会でも話題になっていましたが、まず小学校の英語教育のカリキュラム、これは国の動向が定まらないということもありますが、ここは豊岡版の作成が必要だろうし、それには9年間の全体を見据えた英語教育のプラン策定が必要かなと思います。

それから、先ほども言いましたが、良質なALTの安定的な確保。これがキーになってくる。寝屋川ではプロポーザル方式をされているわけですが、それをやろうと思えば、相当こちらとしても



勉強していかないと、彼らに何をやってもらうのかということ、現場の先生との役割分担も出てくる。ここは研究が必要かなと思っています。

(深田委員長)

今、いろいろと所感だとか、小中一貫・英語教育の推進についてのお考え、ご意見を述べていただきましたが、その他委員の方、何かありますでしょうか。

では、私の方から何点か感じたこと等について、お話をさせていただきたいと思います。まず、宇治市で一番感じたのは、しっかりとした引っ張っていけるコーディネーターを作っていかなければ前へ進めないなあとということです。それができれば、こういうことにも繋がるんだろうと思いますが、中学校の先生を核にしてそれができれば、継続的なカリキュラムの編成というようなものも可能になるのではないかなあと感じたところです。

本市が小中一貫をするにあたって目指すべきところですが、これははっきりと宇治市でもありましたように、ふるさと教育をしっかりと小中一貫教育の構想の中に位置づけてカリキュラム化するということと、もう1つはキャリア教育、この豊岡でどういうふうにしてライフプランを立てていくのかという、そういう基本になるようなキャリア教育というようなものもしっかりと構想の中に入れていく一貫教育も必要なかなあと私なりに感じております。

今後の小中一貫を進めるにあたってどういうことが必要なのかということについては、先ほど中川委員の方からいろいろお話があったことと重複しますので、割愛いたします。

今後、各部署での研究課題としては、少なくともこういう事については考えてほしいなということで中川委員と重複しない程度に話をさせていただきます。まず、小中一貫教育をやっていたら、まず最初に学校運営についての協議会みたいなものを作ることになるんだろうと思いますが、その辺の運営マニュアルというものをこれは教育総務課になるのかこども教育課になるのかちょっとわかりませんが、しっかりと前例の研究をしていただいて、運営マニュアルは、移るときにはきっちりとできるようにしてほしいと思います。

2つ目は、小中の連携教育の中で培ってきたものがありますので、小学校から中学校へのジョイントプログラムというようなものをしっかりと作っておいてほしい。これはこども教育課と各中学校が協力して作っていただくことになるのではないかと思います。

3点目ですが、先生方の把握をまずしておかなければならないと思いますので、小学校、中学校両方の教員免許を持っておられる方はどのくらいいらっしゃるのか。大変都合がいいなと思いますが、また、そういう両方の免許を持っておられない方をしっかりと把握することによって、いろんな先生方の分け方みたいなものも、分けると言ったらちょっと語弊がある言い方ですけども、しっかりと研究していかないといけないのかなあと思いました。

英語教育に関して言いますと、まず最初に感じたのは、小学校から英語をやるというのは大変すごいことだなあと感激、感動もしましたが、一方で小学校から英語嫌いになってしまった子ができたら困るなあと感じたのがあります。あとは、中川委員と重複するところもかなりありますので、割愛させていただきます。

本市が目指す英語教育、小中一貫の柱の1つとしての英語教育ということになると、1点目は、せっかく幼児教育の中での英語遊びということをやっているんですから、そのあたりと小学校の1・2年生、低学年に連動するような英語教材というものをしっかりと作ってカリキュラムの中にしっかりと位置付けていくということをしていかないといけないのではないかなと思いました。

2点目は、先ほどALTの確保の話も出ておりましたが、一方では、やはりなかなか難しいところがあるとしたら、これはできることかどうかはわからないのですが、意見として聞いていてください。ボランティア補助員というようなものを活用するというのが、特に小学校の高学年の英語指導というところでは、数がいるので有効かなと思いました。

3点目は、少なくとも、中学校卒業時には学校対抗の英語スピーチコンテストなんかができるくらいの英語のコミュニケーション力をつけていくということを目指することも大事なのではないかなと思っております。

英語教育を進めるにあたって必要なこととして今思っていることは、ボランティアで英語の授業に補助員として参加していただけるような方の人材バンク作りも考えていくべきかなあということと、あとは中学校での英語教育のカリキュラムの中で、英会話の部分で実践的な演習として、街へ出て街頭インタビュー的なことをカリキュラム化していくことも必要かなと思っております。

今後の課題として、これは急がれるべき研究課題なのかもしれませんが、英語に慣れ親しんでいる保育士の方だと幼稚園教諭の方、こういう方をどうやって作っていくのか。そういうことをちょっと早急に研究していかないといけないのではないかと考えております。雑駁ですけども、そのようなことを今回の研修を通して感じているところです。

(友田委員)

今回視察に行かせていただき、小中一貫について、昨年の大原以上に具体的な内容で、大変良かったです。宇治市では、中川委員と同様で、説明された方が、良いところも悪いところも、ざっくばらんに話してくださり、わかりやすかったと思います。組織運営、ブロック毎の独自性も強く感じられました。

その中で一番印象に残っているのは、小学校側から中学校へ、6年生だった時の担任が足を運び、教え子を見て躰きを知り、フォローされていることでした。不安もある中学生にとって励みとなり、心強いことです。

もう一つ、「宇治市」の副読本を作成し、ふるさと学習に役立てる試みは、子どもたちが自分の市、宇治を知り、自分の言葉で語れるようになり、素晴らしいことです。ぜひ豊岡市でも実現できればいいのですが。

また、今回の視察に但東中学校と但東地域の3小学校の校長が同行され、一体となって生の声を聞かれたことは、小中一貫に取り組みされる上で大変意味のあることであつたと思います。具体的な質問も出ていました。

次に、寝屋川市の英語教育についても、実際の授業風景を映像で見て、様子を詳しく聞かせていただき、意欲的にされていることが伝わりました。全国で注目され、視察が多いのもわかる気がしました。先生方の熱意ある姿勢と興味の引き出し方に、子どもたちも力をもらっていることも実感しました。日本人が自然に日本語を喋られるようになったのと同様に、英語を英語と捉えず、理屈抜きで英語のシャワーを浴び続けること、真似て繰り返すことの重要さもわかりました。文法を考えるより、楽しく遊び感覚で英語を話すことが、自主的に言葉を発することに繋がっているように思いました。

今後、豊岡市で実践するわけですが、指導者間の密な連携で共通理解を図っていただきたいです。子どもの性格も、地域性も様々ですが、よく検討し進めていただきたいと思います。

(深田委員長)

ありがとうございました。

宮嶋委員、何かありましたらお願いします。

(宮嶋委員)

所用で管外行政視察に行けなかったことを申し訳なく思っております。すみませんでした。

委員の方からお聞きした中で、私は実際行っていないのでその様子がわからないんですが、但東の先生方が自分の質問をされて、それに答えていただいたというのを聞いて、とてもいいことだと思いました。それから、豊岡市はまず但東を小中一貫の先駆けとするということで、但東地域が頑張っておられるんですが、その4人の先生方が一生懸命に取り組んでおられる姿が見えたというのを聞かせていただき、私はそこが良かったなあと思います。まず但東が、それから他の地域に移っていくわけですが、但東の先生に、先生方だけではないんですけど、小中一貫の豊岡市の第1号として頑張っていたいただきたいなというのをとても感じました。

寝屋川のことも少し聞いたんですが、先ほど友田委員が言われた英語のシャワーというのを、私は、教えるとかこれだよというんじゃなしに、周りに英語が溢れていたら、例えば、遊んでいる間にも英語の音楽が流れたりした中で遊べたらいいなと思っていたので、聞いてなるほどなと思いました。

(深田委員長)

はい、ありがとうございます。協議事項につきましては、いろいろとご意見をいただいたということで、各委員がおっしゃったようなことについてもまた大きな構想の中に少し入れて考えていただければということで協議事項、以上で終了させていただきたいと思います。

ここで暫時休憩を取りたいと思います。3時5分に再開します。

————— 休憩 —————

(深田委員長)

では、休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。

## [日程 第6 地域コミュニティ振興部の報告]

(深田委員長)

第6、地域コミュニティ振興部の報告をお願いしたいと思います。電話会議システムです。生涯学習課の報告をお願いしたいと思います。生涯学習課長、説明をお願いいたします。

### 1 生涯学習課

《生涯学習課長の報告概要》

#### (1) 「植村直己に学ぶ」サバイバル体験教室のテレビ放映について

7月18日から7泊8日で総勢21名の子どもたち、うち豊岡の子どもは12名が参加したサバイバル体験教室について、練習キャンプから7泊の間、ずっとNHKが付き添っていた。その様子がテレビ放映される。2回放映されるが、1回目が9月11日(金)の20時から43分間「ドラマチック関

西」、NHKの総合番組である。2回目が9月26日（土）の「目撃！日本列島」で、これは全国版で、再編番組として放映される予定である。

追加資料として、参加した21名の感想文集を教育委員の皆様へ配付しているため、ぜひご覧いただきたい。

## [日程 第7 教育委員会事務局の報告]

(深田委員長)

第7、教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課、2点ありますけども、教育総務課長、まとめて報告お願いいたします。

### 1 教育総務課

《教育総務課長の報告概要》

#### (1) 平成27年度豊岡市教育委員会の点検・評価報告書の公表について

平成27年度豊岡市教育委員会の点検・評価報告書については、前回の委員会で、「教育委員会会議以外の活動状況」のその他の行事等に漏れている活動があり、一部加筆をして原案のとおり承認するという決定をいただいた。その後、各委員に照会をさせていただき、8つの行事を増やして加筆したものを最終の点検・評価報告書として調製した。委員各位には、8月4日に配付させていただいたとおりである。市議会の議員各位にも8月7日付けで配付した。また、ホームページにも8月7日に掲載し公表している。

#### (2) 山名氏城跡整備基本計画〔改訂版〕について

山名氏城跡整備基本計画〔改訂版〕について、公開状況等を報告させていただく。前回の委員会で原案のとおり改訂版として決定し、教育委員の方々には、8月7日に、作成年月日を27年7月としたものを配付させていただいた。また、市議会議員各位にも8月7日付けで配付した。

なお、前回の委員会で、「ボランティアのことをどこかで触れておいた方がいいのではないか」との意見をいただきながら、そのことへの回答が不十分なまま原案どおりの決定となった。事務局として、この件について委員会終了後に調整をさせていただいた。結果、計画書の8ページの3、保存の方針⑧というところに、「管理主体である豊岡市および豊岡市教育委員会は、広く住民等の協力を得ながら事業の推進を図る」という表現がある。具体的に「ボランティア」という表現は出てこないが、ボランティアのことはここに含むこととさせていただき、ボランティア団体との連携協力を図りながら事業を推進していきたいと考えていることを併せて報告させていただく。

(深田委員長)

続きまして、こども教育課報告に移ります。こども教育課長、(1)から(4)まで一括して説明をよろしくお願いいたします。

### 2 こども教育課

《こども教育課長の報告概要》

#### (1) 学校園の運動会、体育祭の訪問について

学校園の運動会、体育祭の訪問ということで、訪問計画を配付している。子どもたちの2学期の一番大きな活躍の場ではなかろうかと考えている。ご多忙であると思うが、運動会、体育祭にご臨席いただき、応援していただきたい。その際、何か気付いたことや、考えられたことがあれば、配付の用紙に、気付かれた部分だけで良いので簡単にメモしていただき、事務局までいただけたらありがたいと思っている。

#### (2) 2学期以降の学校園訪問について

2学期以降の学校園訪問ということで、訪問一覧を配付している。これもご多忙であると思うがよろしくお願ひしたい。

#### (3) 全国学力・学習状況調査結果の公表を受けての取組について

4月21日に今年度の全国学力・学習状況調査が実施された。その実施を受けて、8月25日に結果が教育委員会事務局に届く予定になっている。おそらく翌日の8月26日にプレス発表されるという状況になると思う。本年度の豊岡市の取組として、8月26日に第1回の学力向上検討委員会を早々に持ちたいと思っている。この結果を受け、本年度、豊岡市としてどのような対応策を行っていくのかというあたりを協議を重ねて、10月中旬には取りまとめをし、結果を公表しながら学校の取組に活かしていきたいと考えているところである。

本年度は昨年度までの国語、算数に加えて、理科が初めて実施されている。このあたりも含めて分析を行う予定にしている。

#### (4) こども支援センター7月の活動状況報告について

こども支援センターの7月の活動状況報告について、特別支援の取組状況については、特に、来所の教育相談、学校園訪問の教育相談の数が、多数挙がっている。この夏季休業中の期間というのは、学校園にとっては教育相談が頻繁に行われる時期であり、こども支援センターの相談員はフル活動という状況で、この件数をこなしてくれている。大変ありがたいと、学校園の方からも、こども支援センターができて大変助かっているという言葉が随所で聞いている。

#### 《教育委員の質問・意見概要及び事務局の説明概要》

(深田委員長)

今年度の全国学力・学習状況調査の結果がもう出てくるとのことだが、大事なのは、結果の分析と、その分析に基づいてどのような対策を立てていくかということが一番大切なことだと思っている。もちろん、現場の先生方が十分分析されると思うが、その分析と同時に、家庭学習との関連についても、何らかの形で調べるといふか、調査といふかができて、そのあたりに関連性みたいなものがあるというようなことがわかれば、豊岡版の家庭学習ナビみたいのものの一つの指針にもなるのではないかなと思っている。その辺のところは、なかなか難しいと思うし、教育委員会だよりの中でその結果について保護者の方等にお知らせするわけだが、どの程度どのような形で掲載するかということもなかなか難しいかとは思いますが、ぜひとも、調査の先生方の結果について、話し合いをさせていただく中で、共有できるところは共有したいという思いを持ってい

る。

支援センターの活動状況報告は、毎月報告していただいているが、本当に数が多いのでちょっとびっくりしている。やはり、これも掘り起こしにもなったということもあるのか、今までも潜在的にこういうのが埋もれていたということだろうと思うので、大変だがセンターの職員方にはよろしくお願ひしたい。

(こども教育課長)

先ほど委員長から話があった、家庭学習と学力との相関というのは必ずある。実は、児童生徒の質問紙というのがあり、それには必ず、家庭学習を何時間やっているかというような質問項目もある。そこと正答率のクロス分析も結果として出てくるので、学校としては、どれだけの家庭学習がなされているからこういう状況だというのは把握することが可能であるので、そこは各学校の方で、家庭の方に返していただいていると思っている。

(石高教育長)

もう一つ、付け加えると、家庭学習については、入学のときに配付する冊子の中に、豊岡市として、大まかな内容、学年×何分という時間を示している。と同時に、各中学校区単位の小中連携で、家庭学習のあり方の一覧表を作って家庭に配付している。問題はできるかできないか、である。

## [日程 第8 教育委員会活動予定]

(深田委員長)

では、第8、教育委員会の活動予定について、事務局の方から説明をお願いいたします。

《教育総務課係長の説明概要》

### 1 次回教育委員会会議の日程について

次回教育委員会の会議日程は、9月28日(月)午後1時30分から、竹野庁舎の会議室で開催する。定例会終了後、本年度から行っている地域の学習会を計画したいと思っている。

10月の定例会の開催日程は、調整していただいた結果、10月27日(火)の午後1時30分から但東庁舎で開催と決定した。こちらも、終了後、但東の地域の状況が聞けたらと思っている。

### 2 今後の活動・行事予定

今後の活動・行事予定は資料に記載させていただいているとおりである。

市議会、体育祭・運動会、学校訪問について、出席者調整をしていただき、変更等お聞きしたので、それで担当課に連絡する。また変更等あれば、随時連絡いただきたい。

《教育委員の質問・意見概要及び事務局の説明概要》

(石高教育長)

お願いしておきたいが、10月27日の移動教育委員会が但東なので、ちょうどこのときには、6年生の中学校への1週間の登校が終わっている。学校長に、子どもたちの感想を含めた学校の総合的な思いをここで少し話していただけたらありがたいと思う。

(教育総務課係長)

但東地域の校長先生方にそのような依頼をしていきたい。

(深田委員長)

では、その他で何か委員の方、ありましたらお願いします。

ありませんね。では、以上を持ちまして、定例の教育委員会会議を閉会といたします。

---

閉会 午後 3 時25分

---